

## 令和6年度予算編成方針

令和6年度は、第2期中期目標期間（令和4年度から6年間）の3年目であり、また、大学院開設の初年度となる。予算においては、収入では大学院開設に伴う収入増に加え、引き続き授業料、入学金及び検定料等の着実な確保を行いつつ、自己収入の獲得を図ることで安定的な財政基盤を構築する必要がある。支出については、引き続き業務コストの抑制に努めつつ、本学の中長期的な将来を見据えて教職員の増員や施設・環境整備等に関する事業に対し、適切に予算配分を行うよう予算編成する必要がある。

このため、令和6年度予算は、収入については引き続き授業料をはじめとする自己収入等の拡大に努め、支出については以下の重点項目に優先的に財源配分を行い、年度計画の記載内容に則した事業を遂行できるよう適切な予算編成を行う予定である。

### 【予算編成における重点項目】

#### 1 中期計画の重点施策推進のための費用

開設する大学院の環境整備や教職課程の設置など中期計画の重点施策を推進するため、人員確保や教育研究体制の充実に必要となる経費を計上する。

#### 2 キャンパス整備構想に基づく施設整備に必要な費用

令和5年度に策定する中長期視点に立ったキャンパス整備構想に基づき、施設整備のために必要となる準備から購入までの経費の予算措置を図る。

#### 3 学修支援のための環境の充実

福利厚生施設・学修支援の充実に加え、学内外での多様な活動支援など学生の満足度向上に資する施策を充実させる。